

「JESS職場改善」は待ったなし!

働き続けられる職場を作っていこう!

2022春闘では定期昇給は確保したけれど

JESSの定期昇給は、最初は1,000円となっています。順調にいけば1,300円、2,300円、3,000円となっていきます。それ以上に昇給額を上げるには、人事考課により昇格するしかありませんが、それでも昇給額は3,600円で頭打ちです。

昇格しなければ一生懸命に頑張っても、10年で20,000円しか上がらず、30歳になっても20万円に達しない状況です。定期昇給は確保したとは言っても、物価上昇などを見たときに、実質賃金は大きく下がったこととなります。

「若手の離職率が高いのも納得」の声も

国労東日本本部で取り組んだアンケートには、JESSで働く仲間60人が今の思いを率直に答えてくれています。その中には、「定期昇給が低いJESSでは、先を考えた場合、物価上昇などを考えると余裕のある生活は出来ない」と将来を悲観する声が多く届いています。

届けられた
切実な声

- ・年間昇給額がおかしい。人をバカにしているとしか思えない。
- ・昇給が酷すぎる。若年層をこき使う風土のせいでやる気が湧かない。
- ・すべてが不満。昇給額、手当、こんな福利厚生や待遇では、若手が定着しない。
- ・会社からの命令なのに、助勤先への移動が超勤から外されるのは理解できない。
- ・JRの最重要グループ会社ならもっと働く環境を整備してもらいたい。
- ・1,000円、1,300円の昇給。JR東日本の仕事を委託しているとは思えない。
- ・この給料と福利厚生では、若手の離職率が高いのも納得する。

国労は、**みなさんの声**を会社に伝え、**働き続けられる**労働条件作りを行っています。

国労に結集しましょう!